

村上市市民憲章素案に寄せられた意見のまとめと整理

	村上市市民憲章 (素案)	主な意見のまとめ	意見に対する整理
前 文	<p>若葉薫る木々</p> <p>清らかなせせらぎ</p> <p>稲穂わたる風</p> <p>夕日きらめく波</p> <p>私たちのふるさと、自然に恵まれた美しいまちです 人々は、豊かな心と文化を育みながら、歴史を重ねて きました 私たちは、市民であることに誇りを持ち、誰もが輝け る明日に向けて ここに市民憲章を定めます</p>	<p>➤全体的に綺麗すぎて、もっと力強さがほしいです (村上まち協) もっと若い方が希望を持てるような力強い市民憲章が良いと 思います。</p> <p>➤村上らしさがないのではないですか (村上まち協) 何か村上というようなものが感じられません。</p> <p>➤若葉薫る木々→樹々がいい (鈴木 ad) ※ (〇〇ad=7トバイザ-)</p> <p>➤冬はないのですか (鈴木 ad) 1年の半分近くが冬ですが、冬のイメージが必要です。</p> <p>➤「人々は～」という部分がとても唐突に感じます (瀬波まち協) 「私たちは～」と始まって、「人々は～」となり、また「私た ちは～」と続くのは少しおかしいように感じます。「人々は～」 というのは唐突に感じます。</p> <p>➤「市民であることに…」を「村上市民であることに…」に した方がよいのではないかと (長谷川 ad)</p>	<p>*「力強さ」とは何か、具体的なものがない</p> <p>*若い人だけの市民憲章ではない</p> <p>*「市民憲章」は誰に向けて出すものか</p> <p>*「村上らしさ」を発信するのではなく、 受け取り側が、「感じる」もの</p> <p>*「木」には、立木と素材としての木 「樹」は立木のみで「木」の方が広い意味</p> <p>*春夏秋冬を表したのではない</p> <p>*「このまちの人々」→「人々」とまとめ た経緯がある。人々の中には、「村上市の 地域に古から生きてきた人々や私たちの 先人、祖先」という意味も込められている</p> <p>*タイトルに村上市市民憲章と入っており、 中身に「村上市」という言葉はいらないの ではないかという論議があった</p>

	村上市市民憲章 (素案)	主な意見のまとめ	意見に対する整理
唱 和 文	<p>はぐくもう 愛と思いやりのこころを</p> <p>つくろう 創意に満ちた明るい未来を</p> <p>ひろげよう 伝統と文化、学びのすばらしさを</p> <p>私たちは、元気あふれるまちを目指します</p>	<p>➤「愛」は「思いやり」に含まれるのではないか (長谷川 ad)</p> <p>➤「つくろう」に「創意」が含まれるのではないか。また、最終行「元気あふれるまち」が「明るい未来を」に含まれるうえ、「明るい未来」の方がより高い目標を指しているため、この4行の順序をかえるべきではないか (長谷川 ad)</p> <p>➤「つくろう」と「創意」は同じことです (鈴木 ad)</p> <p>➤「伝統」は「文化」に含まれるのではないか。また、「すばらしさをひろげる」という言い方はしないのではないか。「輪をひろげる」とならないか。(長谷川 ad)</p> <p>➤順序は「文化と伝統」ではないか (小川 ad)</p> <p>➤「伝統と文化」の前に「新たな」とつけるべきではないか (鈴木 ad)</p> <p>➤唱和文2行目と3行目を入れ替えることで、最終行はいなくなるのではないか。「元気あふれるまち」<「明るい未来」になるのではないか (長谷川 ad)</p>	<p>*「愛」という言葉は、当初からのキーワード</p> <p>*「創意」の意味 「新しい思いつき」、「独創的な考え」 産業面や若者へのメッセージにならないか</p> <p>*「育み」→「作って」→「広げる」テーマ性</p> <p>*「素晴らしさ」を多くの方に伝えたり、発信したりしていこうという意味。「輪をひろげる」としたときに、あまりに一般的すぎないか → 綺麗すぎる</p> <p>*伝統産業等へメッセージはいらないか</p> <p>*文化の発生→伝統という順か</p> <p>*「新しい」ものはばかりではない</p> <p>*最後の一行は、唱和しやすいことを考えた末の一行であり、すべてなくなると「～を」という終わり方になってしまう。</p> <p>*最後の一行は、3つの行動目標を受けて、目指すものである(高い、低いを考慮すべきか)</p>